

第 7 回総務経済常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 4 年 9 月 9 日 (金曜)		午前 1 0 時 1 5 分 開会		
	休 憩 10:27-28				
			午前 1 0 時 3 0 分 閉会		
	休憩時間：0 時間 1 分		会議時間：0 時間 1 4 分		
会議場所	役場 3 階委員会室				
出席委員 氏 名	委員長	鈴木 健充	委員	寺町 平一	
	副委員長	中田智恵子	委員	中村 和宏	
	委員	梶澤 幸治			
	委員	立川 美穂		議長 早苗 豊	
説明員	政策推進課長	石田 哲	水道庶務係長	大石 真澄	
	政策推進課長補佐	中田 雅彦			
	政策推進課政策調整係	藤村 勇貴			
	水道課長	高橋 力			
参考人					
欠席委員 氏 名	委員	広瀬 重雄			
事務局職員	事務局長	安田 敦史	総務係長	佐藤 史彦	
<p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会</p> <p style="padding-left: 20px;">委員長が開会を告げ、広瀬重雄委員の欠席の旨を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。</p> <p>2 議 件</p> <p>(1) 調査事項</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 物価高騰対策について 資料 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政策推進課長：課長補佐から資料説明する旨を告げる。 ・ 政策推進課長補佐：水道基本料金減免事業に係る目的、対象、内容、期間と方法、給水区域以外の助成について説明。 ・ 委員長：意見・質疑はないか？ ・ 寺町委員：個人も事業者も対象か？ ・ 課長補佐：お見込みのとおりである。 ・ 寺町委員：水道料金収入額への影響は？ ・ 課長補佐：概数で上水道は 6,850 万円、簡易水道は 450 万円、総額で約 7,300 万円の見込み。 ・ 立川委員：財源充当の考え方は？ ・ 政策推進課長：一般会計から事業会計への繰り入れである。 					

- ・立川委員：他自治体でも同じ対策を講じている。本町では住民からの要望はあるか？
- ・政策推進課長：電話やホットボイスで、当該事業の実施に関する要望が寄せられている。
- ・立川委員：所得制限を付さない理由は？
- ・政策推進課長：物価・原油価格高騰の対策であり、所得の高低にかかわらず同一の背景であること。タイムリーかつスピーディーな助成事業としたいため、事務の煩雑化を避けたいことの二つである。
- ・梶澤委員：他自治体でも講じている策。重要な策として評価する。4か月限定の冬期間に設定した理由は？
- ・政策推進課長：冬期間の原油価格が嵩む時期。冬期間の設定としては2月が最長。4か月の概算として1世帯1万円。
- ・梶澤委員：制度の趣旨を鑑みると、一般財源でなく、コロナ給付金から支給すべきではないか？
- ・政策推進課長：一般会計から事業会計への繰り入れであるが、財源内訳は、コロナ給付金と一般財源を2分の1ずつ。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

- ・委員長：自由討議の要否について意見はないか？
- ・寺町委員：町民にとって重要な施策であり、自由討議は不要と考える。
- ・委員長：異議ないか？
- ・（異議なし）

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程について
正副委員長一任

(2) その他

- ・委員長：「その他」で各委員からないか？
 - ・（なし）
 - ・委員長：議長からないか？
 - ・（なし）
 - ・委員長：事務局からないか？
 - ・（なし）
- 以上で総務経済常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	1名	合計	2名
令和4年9月9日								
総務経済常任委員会委員長 鈴木健充								